看護いばらき

No.104
2014年1月31日



CONTENTS

- 新年のあいさつ …… P２～３
- 午年 ～年男･年女あつまれ～ …… P４～５
- 災害支援ナースフォローアップ研修 …… P６
- 助産師職能委員会企画研修（女性･産後の身体のケア･ヨガ） …… P７
- そよかぜ 私の専門 ～認定看護師～ …… P８
- ザ･シリーズ ～地域連携～ …… P９
- 私の職場 …… P10
- 図書郵送等返却のご案内 …… P11
- 茨城県保健衛生会館 ご利用のご案内 …… P12～13
- 入会金及び会費納入方法について … P14～15
- 協会からのお知らせ …… P16
  - ・改選役員、推薦委員及び代議員、予備代議員への立候補について（公示）
  - ・理事会報告

会員数（平成25年12月18日現在）

合計 12,805人　保健師 331人　助産師 361人　看護師 10,961人　准看護師 1,152人

新年のご挨拶



茨城県看護協会
会長　村田　昌子

さらなる飛躍の年へ

新年あけまして　おめでとうございます

会員の皆様には、ご家族おそろいで新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

25年は、公益社団法人としての定款に則り多くの事業に着手してまいりました。特に今後の超高齢社会を見据え、在宅医療を推進していくうえでの看護職の役割を確固たるものにするため、皆さんの応援も得て4月から訪問看護と併設した複合型サービス事業所「絆」を創設することができました。生みの苦しみそして子育ても大変ですが、熱心なスタッフに恵まれ住民の方々に愛される事業所になりつつあると感じています。これからも「あなたの老後　どう暮らしますか」をテーマに出前授業や、実習場所の提供等々地域に還元できればと考えています。在宅医療の中で医療機関等での大きな役割を担う退院調整看護師の研修も、24・25年の2年間で57名の修了者を輩出し地域連携室等で活躍いただいておりうれしい限りです。

また、看護職の働きやすい職場環境づくりの一環として、WLB推進ワークショップを開催いたしました。参加施設4か所によるインデックス調査の分析・評価により、施設個々の問題・課題を職位・職種を超え議論していく過程では、時を忘れるくらいの熱気のあるものとなりました。看護職確保が施設にとって大きな課題ではありますが、自分たちができることから始める努力も惜しまないことの大切さを、一方では学んだところです。26年度も多くの施設が参加できることを願っています。

25年8月に「社会保障制度改革国民会議」報告書が出されました。冒頭の国民のメッセージの中で会議議長の清家篤氏は、日本を世界一の長寿国にした社会保障制度を、将来に世代にしっかり伝えるために、現在の世代はどのような努力をしたらよいのか考え抜いた国民会議の結論であると述べてあります。そして、福沢諭吉の「学者は国の奴雁なり」を引用し、奴雁とは雁の群れが一心に餌を啄んでいるとき一羽首を揚げて遠くを見渡し難に備える雁のことだそうですが、自分たち国民会議の専門家たちは議論を進めてきたと結んであります。

このメッセージは、私たち看護職にも通じるものがあると考えます。現在のことを見据えることはもちろん重要なことですが、奴雁のように先をどのように見据えそして行動するのか、とても意味深い例えと思います。

この気持ちを胸に、看護職が生きがいをもって働くことができるよう本年も皆様のご支援、ご協力を頂き努力をしていく所存です。本年が皆様にとって良き年でありますようにお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。



感謝!!　感謝!!



専務理事　太布　和子

明けましておめでとうございます。
会員の皆さまのご支援・ご協力のもと、看護協会事業が順調に進捗していることに感謝申し上げます。
これまでの日々も、これからの日々も自分の人生!!　どう過ごすかは自分次第と・・（神のみぞ知る？）超高齢多死社会の到来に、団塊世代の一人として、具体的に何をなすべきかを考え、また、看護協会の更なる発展に向け有意義な年になるよう、力の限り精一杯努めたいと思っております。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



人材育成とチームケアの推進

常任理事　青山　千代子

これまでも看護の質向上に向けた様々な研修を行ってまいりましたが、平成26年度は、安定した看護が提供できる基盤となる人材育成を目指します。
研修への参加の少ない施設や小規模施設への教育支援、中堅看護職の実践力をさらに高める研修の実施、そして、地区意見交換会での意見を反映し、准看護師研修や地域での研修開催等に取り組んでまいります。
また、高齢化が急速に進展し、「病院完結型」から「地域完結型」の医療にシフトしており、全ての人々が、地域で安心して暮らし続けることができるように、多職種が協働するチームケアが重要になっています。看護職の役割も拡大し、マネジメントする能力が求められており、それらを向上させる研修にも取り組んでまいります。
そして、看護研修センターでの研修の場が、病院、施設、地域などで働く看護職の交流の場となり、お互いの役割を理解し、チームケアの推進につなげる機会となるようにしたいと思います。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

健康で働き続けられる労働環境改善を目指して



常任理事　相川　三保子

看護職が安心して健康で働き続けられる職場環境づくりの支援の一つにワーク・ライフ・バランスの推進があげられます。看護職の離職防止、県外流出抑制、良質な人材確保等のためにも労働環境改善に向けた更なる支援ができるよう、努力致します。ナースバンク事業では、医療機関のみならず訪問看護ステーション、老健施設、教育現場等看護職の働く現場からのニーズは多くなっております。ハローワークとの連携を強化しながら潜在看護職の発掘にも努めて参ります。
一方、地域の方々が健康や妊娠・子育て・介護等の悩みを気軽に安心して相談できるよう、「困った時はいつでもナースセンター」を頼って下さい。
本年もどうぞよろしくお願いします。

午年 ～年男・年女あつまれ～

［午年生まれの運勢］

華やかな存在感があり、情熱的な性格で才能に飛んでいます。独立心が旺盛で冒険心も強く行動力もあります。一方で、見栄っ張りで、好き嫌いが激しく気分屋なところもありますが、あけっぴろげで腹の中に何もないという正直さがあるので人には憎まれず、人気があります。

『救急看護の向上を目指して』

昨年卒業し、内科病棟で急性期の医療に携わり、大変勉強になった一年でした。今年はさらに学びを深め、地域の救急医療に貢献できるよう、飛躍する年にしたいと思います。



ひたち医療センター
木村　凪

『いつも通り笑顔の一年を』

昨年は、ファーストレベル研修に参加し忙しい一年でした。今は研修を一緒に頑張って乗り越えた仲間が出来たことが一番の力です。今年も、いつも通り笑顔で頑張っていきたいと思います。



きぬ医師会病院
櫻井　知子

『新年の抱負』

私は今年で5年目になる准看護師です。
新年の抱負は、初心を忘れず、心ある看護をしていきたいです。
また、日々勉強し、チャレンジしていける年にしたいと思います。



神立病院
田辺　佑希

『午年の誓い!!』

子供を産んでからも、ずっとこの仕事を続けてきました。
同じ午年に生まれた娘も看護師になりたいと言ってくれています。
これからの自分にも、娘の道しるべとしても、しっかり誇れるような仕事をしていきたいと思います。



会田記念
リハビリテーション病院
鳥飼　由紀

『成長したい』

カウンセリングの勉強を続けながら、自分の心を見つめ、話を聴いてもらったり、仲間の話を聴いたりしながら、心が成長できると良いなあと思います。



水戸済生会総合病院
麻生　工三

『ピンチはチャンス』

チャンスの神様には前髪しかなく、逃げ足が速く、気付いた時には掴む髪はないそうです。残念ながら、私には前髪も後ろ髪もありませんが、「ピンチはチャンス」と思っています。



水戸済生会総合病院
紺野　正人

『元気よく笑顔の年に』

たくさんの患者様との出会いが私の元気に繋がっています。患者様が元気で笑顔になれるように1人1人の患者様・家族へ目を向け、耳を傾けて思いに寄り添った看護ができるよう頑張ります。



白十字総合病院
荻沼　千紘

『みんなで笑顔 ー楽しい病棟にー』

去年のクリスマス、サンタクロースの帽子をつけて仕事をしました。それを見た患者様に笑顔がみられ自分たちも笑顔になれました。一年間、笑顔でいられるよう頑張っていきたいです。



筑波病院
守屋　正志

午年生まれの有名人

■男性

長島一茂　今田耕司　東山紀之　小泉孝太郎　三浦春馬　安倍晋三　片岡鶴太郎

■女性

小泉今日子　浜崎あゆみ　椎名りんご　ローラ　浅田真央　松任谷由美　浜口京子



災害支援

ナースフォローアップ研修会

期日：平成25年10月21日(月)、22日(火)
会場：茨城県看護研修センター

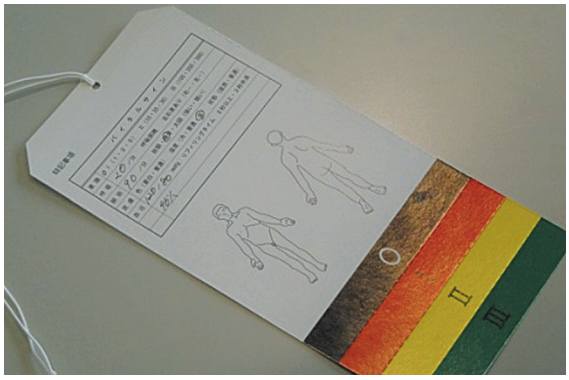
災害支援ナースフォローアップ研修が、10月21日、22日と2日間の日程で開催されました。災害支援ナースに登録している方が対象で、登録を更新する要件の一つでもあります。東日本大震災以降、災害支援ナースが社会に認知されるようになり、活躍の場が広がる一方で、災害看護の質の向上が求められています。そのような中で、今回の研修内容は、座学とともに、災害時に活用できる三角巾法が取り入れられ、頭部の固定や玉結びの簡単な解き方、即席包帯の作り方、四肢の固定法など、災害の現場で直ぐに活用できる技術の習得に目を光らせていました。また、2次トリアージについても演習を行いました。災害の現場では「負傷者の最大多数に対して、最良の結果を生み出す」事が目標ですので、解剖学的、生理学的なアセスメントを含めた観察を演習することで、より実践的、現場に即した学習ができました。

通常研修は1日ですが、2日間に延長することで、様々な角度から災害看護を学び、災害支援ナースの中で統合されたことによって、より質の高い災害看護、より完成された災害支援につながる研修であったと思います。

災害支援という役割はとても大きいです。その大きさに臆することなく、今後も災害支援ナースの質の向上に努力していきたいと思います。受講生の皆さんお疲れ様でした。そして、茨城をお願いします。

災害看護委員長　　松延　明





助産師職能委員会企画研修

女性・産後の身体のケア・ヨガ



日時：平成25年11月15日（金）13:00～16:00
場所：茨城県看護研修センター
講師：ヨガスタジオ　シャンティプルナ　則次　かおり先生

産後の身体回復のための運動を学び、産後ケアをするための知識と技術を高めることを目的に助産師対象に30名が参加し開催されました。

ヨガは、健康や美容のためにしている方も多く、出産後のヨガが流行っているようです。

産後は、3週間かけて通常の体に戻っていく母体にとって、心身の回復していく時期です。産前に、「産後の身体ケア骨盤底筋群のケアについて」と「産後の生活（食事・入浴）について」の講義内容でした。

産後ヨガは、心と体を楽しくケアし、身体感覚を養い、リラックスさせ、産後の不快症状（尿漏れ・子宮脱）の改善に役立ち、産後の体が生き生き楽しく輝く内容でした。
また、幻想的な音色と気持ちよく眠りにつきそうな穏やかな空間に包まれていました。

講師の則次先生は、現代は、生活様式が便利になり身体を使わない、そして携帯電話やパソコンに夢中になり本来身体を休める時期に、休めていない状況になっているので、自分の体の意識を高め、内観する時間を作ってほしいと話されました。

参加者の声

＊実技もあり良かった。
＊悩みを抱えているお母さん方の実際の指導に活かしたい。
＊産後の母親学級に活かしたい。
＊尿漏れの産後指導としてのケーゲル体操の時期がわかった。
＊自分が媒体となって、院内の母親学級に取り入れていきたい。



産後の食事（体を整えるために摂った方がよいもの）

まごわやさしい

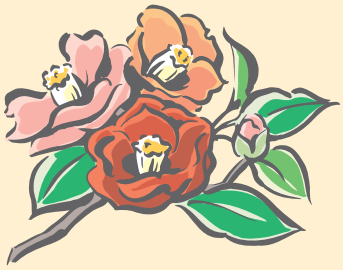
- ま　まめ
- ご　ごま
- わ　わかめ
- や　やさい
- さ　さかな
- し　しいたけ（きのこ類）
- い　いも（イモ類）





そよかぜ

私の専門　～認定看護師～



茨城県立こども病院　　新生児集中ケア認定看護師　平澤　明美

「小児在宅医療の地域との連携を目指して」

私は昨年4月から、成育在宅支援室という部署に移動になりました。新生児病棟では医療機器の発展もあり超低出生体重児、染色体異常、新生児仮死など生命の危機を脱して、自宅に帰ることが出来るこどもが年々増加しています。しかし、こどもの多くは何かしらの医療的ケアが必要であり、両親へ指導を十分に行ってから退院になります。特に母親がこどものケアにかける時間は計り知れません。退院が出来ても地域社会で家族を支える支援体制が十分ではない我が県は、福祉についてみんなで話し合っていかなければなりません。幸いなことに、私が在籍する成育は医師（兼務）、看護師、チャイルドライフスペシャリスト、こどもの療育士、医療ソーシャルワーカー、心理士、保育士、ボランティア・事務担当者が在籍しています。これらの専門職が入院から退院、外来通院中のこどもと家族を支援しています。新生児集中ケア認定看護師として今までの経験を活かしながら、今後は地域で生活する患者と家族を支え、急性期だけではない日々の生活を支えられるような看護が出来るよう、関係機関と連携をとれるよう頑張っています。





ザ・シリーズ ～地域連携～

地域で支える「思いやりと感謝の心で」

介護老人保健施設すばる　川瀬　文子

介護老人保健施設すばるは、平成23年9月13日入所数100床・通所リハ1日25名を定員に開設しました。丸2年が経ち3年に突入し、まだまだ介護施設のあり方を関係各位の方々にご指導いただきながらの毎日を送っております。

昨年は、夏の納涼祭を盛大に行うことができ「地域との交流を図り地域に根ざしたコミュニティを図る」ことを目標に地域の方々と交流を図ることが出来ました。地域の皆様・地元町内会の皆様・利用者様・ご家族様・職員とその子供達が一体となり大盛況に終えることが出来ました。

また、町内会の皆様には、施設内でのボランティアの活動も毎日のように協力をいただいております。さらに、昨年の10月には、季節の行事として「芋煮会・だちょうの卵のホットケーキ」を作り町内の方々と一緒に楽しいひと時を過ごしました。

通所リハでは、季節のイベントを盛り込んだ外食ツアー・コスモスツアー・買い物ツアーなど、社会交流や季節が感じられるサービスを提供しています。

超高齢化社会「最後迄在宅で！最後迄口から！」を目標に地域の皆様・行政・施設・病院等とうまく連携し、目標に近づきたい。高齢者が住み易い社会を目指して。







私の職場

愛と知恵で支える認知症ケア

特定非営利活動法人 認知症ケア研究所
代表理事　六角　僚子
東京工科大学医療保健学部看護学科　教授

水戸市酒門町にこのNPO法人認知症ケア研究所（2002年に設立）があります。現在は地域密着型サービス外部評価機関、研究・研修機関、ボランティア活動、お多福キッズガーデン、デイサービスセンターお多福（三か所）などの活動をしています。また同敷地内にはお多福もの忘れクリニックが併設されており、多くの患者さんが通っていらっしゃっています。

ここでは看護と介護、保育が連携を図って働いています。疾患を持った地域で暮らすお年寄りと地域で育つ子どもたちの健やかさを看る、暮らしを支える、育てるというそれぞれの視点を持ちながら、協働をしています。特に毎午前中の世代間交流はお年寄りと子供と働く私たちが一体となれる素敵な時間があります。「かわいいね」「幸せだよ」、「おばあちゃーん、おはようございます」をスタートに、一緒にリアリティオリエンテーションを行い、体操をし、ゲームや物づくりをします。楽しみ、慈しみ、手を取り合い、笑い・・・・。

現在、この取り組みを生かし、「世代間交流によるアルツハイマー病者の生活の質への効果」について科学研究費で研究を継続中です。またこのような機会をいただき、ご報告していきたいと思います。

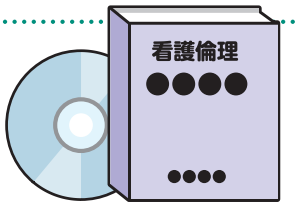


図書郵送等返却のご案内

図書等の返却が、郵送等でもできるようになりました。
貸出時にお知らせした返却日の前日までに郵送等の手続きをお済ませください。

◎ 郵送等で返却できるもの

茨城県看護協会図書室所蔵で、窓口で貸し出した 図書等
（図書、ビデオテープ、DVD等）

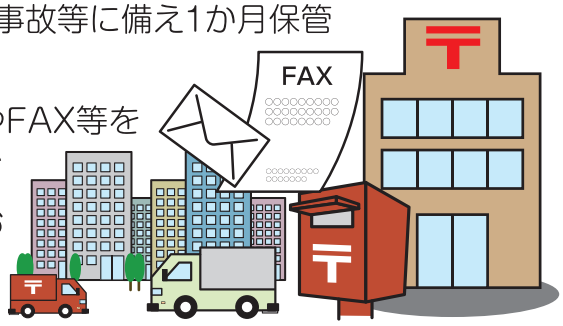


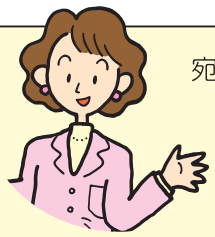
◎ 申込み方法

貸出時にカウンターで職員にお申し出ください。お電話でも受付いたします。

◎ 返却方法

1．図書等が破損しないように梱包してください。なお、視聴覚資料はケースの中身を確認してから、梱包してください。
2．「返却図書」「返却ビデオ」など、はっきり分かるように書いて返送してください。
3．送料は図書等を借りていたご本人の負担となります。
4．一般小包郵便物（ゆうパック）または責任保証が確実な宅配業者で返却してください。
　・通常郵便では返却しないでください。
　・指定した図書等については書留扱いでお願いすることがあります。
　・返却搬送中に図書等が亡失、汚損もしくは損傷した場合、図書等を借りていたご本人の負担により同一図書等を弁償していただきます。
5．返却時の送付伝票は、返送途上の事故等に備え1か月保管してください。
6．返却手続き完了時に、確認メールやFAX等をお送りします。返却完了の連絡が届くまでは返却手続きは済んでおりません。





宛　先：茨城県看護協会　事務局（図書室担当）へ返送してください。
公益社団法人茨城県看護協会
〒310-0034 水戸市緑町3-5-35
TEL 029-221-6900　FAX 029-226-0493
E-mail　ibakango@olive.ocn.ne.jp



茨城県保健衛生会館（看護研修センター）ご利用のご案内

茨城県看護協会では、平成24年度に行った看護研修センターのリニューアルを機に、看護職の皆さまはもちろん、地域住民の皆さまが気軽に相談・交流できる場を確保するため、「コミュニティサロン和み」、「地域交流サロン」、「生活エンジョイルーム」を整備いたしました。

是非、お気軽にご利用ください。

生活エンジョイルーム



●**施　　設**：茨城県保健衛生会館（看護研修センター）2階
延床面積：95.95㎡

●**開 設 日 時**：平日　午前9時～午後5時（年末年始を除く）

●**利用対象者**：どなたでも可（会員・非会員は問いません、他職種の方・一般住民の利用も可能です）

●**利　用　料**：半日／3,000円・全日／6,000円
◎半日／午前9時から正午まで又は午後1時から午後5時
◎全日／午前9時から午後5時
※福祉用具の見学、患者さん・利用者さんへの福祉用具の紹介等については、貸切の場合を除き無料となります。

●**申　込　み**：必要（右下の「申込み・問い合わせ先」までお申込みください）








こんな時は、是非ご利用ください

●職員に福祉用具を利用しての研修会・勉強会を開催したい。
●福祉用具を利用しての介護実習を行いたい。
●福祉用具の導入・住宅改修を検討している患者さん・利用者さんに、体験してもらいたい。
●どのような福祉用具があるのか見学したい。
●住宅改修後のイメージをつかみたい。

コミュニティサロン和み

●**施　　設**：茨城県保健衛生会館（看護研修センター）1階
延床面積／105.66㎡
収容人数／28名程度（丸テーブル4台、四角テーブル3台、椅子各テーブル4脚）

●**開 設 日 時**：平日　午前9時～午後5時（年末年始を除く）



●**利用対象者**：どなたでも可
（会員・非会員は問いません、他職種の方・一般住民の利用も可能です）

●**利　用　料**：無料　　●**申　込　み**：不要

●**そ　の　他**：「コミュニティサロン和み」ついては、原則予約・貸切はできません。



地域交流サロン

●**施　　設**：茨城県保健衛生会館別館
（看護研修センターすぐ横）1階
延床面積／124.91㎡
収容人数／30名程度（長机20台、椅子40脚）

●**開 設 日 時**：平日　午前9時～午後5時（年末年始を除く）



●**利用対象者**：どなたでも可
（会員・非会員は問いません、他職種の方・一般住民の利用も可能です）

●**利　用　料**：半日／１,000円・全日／２,000円
◎半日／午前9時から正午まで又は
午後1時から午後5時
◎全日／午前９時から午後5時

●**申　込　み**：必要（下記「申込み・問い合わせ先」までお申込みください）

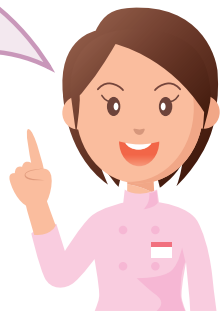
こんな時は、是非ご利用ください

◎ コミュニティサロン和みの利用例 ◎

●患者さん・利用者さんが製作した作品の展示場所を探している。
●子どもが一緒なので図書館・室の利用は難しいけれど、自宅以外の場所でゆっくり勉強がしたい。
●職種や職域を超えた仲間と気軽に集まりたい。
（例　新人看護職員同士で集まりたい、産休・育休中の医療職ママで集まりたい）

◎ 地域交流サロンの利用例 ◎

●患者会・家族会の開催場所を探している。
●職種や職域を超えた仲間と学習会やサークル活動を行いたい。
（例　定年退職した元医療・介護職仲間でサークル活動をしたい）
●小規模の勉強会・学習会を開催したい。
●町内会、自治会活動を行う場所を探している。



申込み・問い合わせ先：
〒310-0034 水戸市緑町3-5-35　公益社団法人茨城県看護協会　総務グループ
TEL 029-221-6900　FAX 029-226-0493　E-mail　ibakango@olive.ocn.ne.jp

平成26年度　新規入会の皆様にお知らせいたします。

入会金及び会費納入方法について

1 納入金

◎ 入会金　**12,000円**
◎ 会　費　**10,000円**（内訳：日本看護協会会費 5,000円／茨城県看護協会会費 5,000円）

2 納入方法

（1）銀行振込の場合 ……

振込先：常陽銀行　下市支店　普通預金
□座番号：9010548
□ 座 名：公益社団法人茨城県看護協会　会長　村田　昌子

（2）郵便振替の場合 ……

□座番号：00170-6-86230
□ 座 名：公益社団法人茨城県看護協会

※平成26年度新入会員の入会金は、入会申込時に年会費と併せて納入いただくことになります。

3 送付いただく書類

送金と同時に、次の書類を当協会宛にお送りください。

① 平成26年度施設会員内訳票・入会金内訳票
② 平成26年度「入会申込書及び継続申請書」

＊改めて領収証は発行しませんので、払込時の「振込金受取書」又は「郵便振替払込請求書兼受領証」を保管願います。



【入会について】

1 新規会員
茨城県・他都道府県看護協会問わず初めて入会する方 → 会　費＋入会金（10,000円＋12,000円）

2 継続会員
平成25年度茨城県看護協会に入会していた方 → 会　費（10,000円）

3 再加入
以前に茨城県看護協会または他都道府県看護協会に入会したことがある方

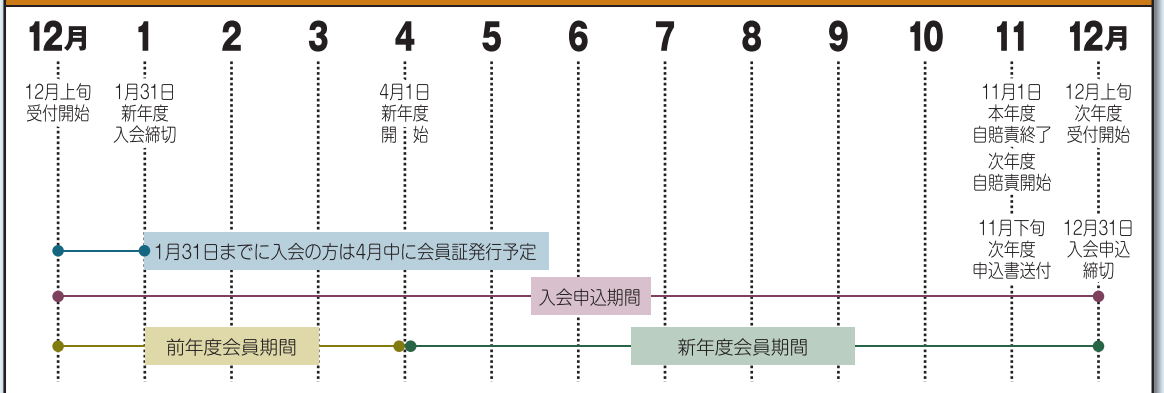
4 他都道府県からの移動
以前他都道府県看護協会で入会手続きをしていた方

5 他都道府県からの年度途中の移動会員
平成26年度他都道府県看護協会で入会手続をしてきた方（会員の登録内容変更届出書を提出してください）

→ いままでに茨城県看護協会に入会し「入会金」12,000円を納めたことがある
- はい → 会　費（10,000円）
- いいえ → 会　費＋入会金（10,000円＋12,000円）

→ いままでに茨城県看護協会に入会し「入会金」12,000円を納めたことがある
- はい → 会　費＋入会金は不要（0円）
- いいえ → 入会金のみ（12,000円）

平成26年度入会の手続きの流れ



※年度内に転居や改姓等により登録内容に変更が生じた場合には、所属の都道府県看護協会へ必ずお知らせください。

問い合わせ先：　公益社団法人茨城県看護協会　　担当　鹿志村・綿　引
TEL　029-221-6900　　FAX　029-226-0493

平成26年度改選役員、推薦委員及び平成27年度日本看護協会代議員・予備代議員への立候補について

選挙管理委員長　阿部　洋子

平成26年6月20日㈮に開催される通常総会（会場：県立県民文化センター）で、平成26年度改選役員、推薦委員及び平成27年度日本看護協会代議員・予備代議員選挙を執行しますので、「立候補」と「推薦」についてお知らせいたします。

■改選役員と役職数

1　役　　員　9人　副会長候補者1人、専務理事候補者1人、常任理事候補者1人、職能理事候補者2人（助産師、看護師）、地区理事4人（水戸、日立、鹿行、取手・竜ヶ崎）

2　推薦委員　9人（任期1年）

3　平成27年度日本看護協会代議員7人、予備代議員7人

■受付の方法

立候補される方は、本会会員5人以上の推薦を受けて、立候補届出書及び立候補推薦届を選挙管理委員長あてに届け出て下さい。

※立候補届出用紙等は、本会ホームページからダウンロードするか、茨城県看護協会事務局に申し出て下さい。　電　話　029-221-6900

■宛　　先

〒310-0034　水戸市緑町3-5-35
公益社団法人茨城県看護協会選挙管理委員長（親展）あて

■受付期間　平成25年2月1日㈯～2月15日㈯必着（郵送の場合は当日消印有効）

理事会報告　平成25年度

第6回理事会　12月13日（金）

協議事項

1　平成26年度事業方針・重点事業（案）承認
2　平成25年度重点事業の執行率について承認
3　平成25年度児童虐待防止対策緊急強化事業について承認
4　助産師出向支援モデル事業について承認
5　平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業について承認
6　平成25年度第2四半期会計報告（案）及び上期監査報告について承認
7　平成25年度会費納入について承認
8　平成26年度見込会員数（案）について承認
9　「育児・介護休業等に関する規程」の改正（案）について承認
10　公益社団法人茨城県看護協会推薦委員会運営規則の改正（案）について承認
11　複合型サービス事業所絆管理者及び土浦訪問看護ステーション管理者について承認
12　平成26年度日本看護協会協会長表彰候補者の推薦（案）について承認
13　平成26年度日本看護協会名誉会員候補者推薦（案）について承認
14　四師会による災害時の医療救護活動に関する協定書（案）について承認

報告事項

1　平成25年度日本看護協会第5回理事会報告
2　平成25年度地区別法人会員会報告
3　平成25年度地区別職能委員長会報告
4　「雇用の質」向上のための研修会報告
5　平成25年度拡大医療安全推進会議報告
6　民主党茨城県総支部連合会「意見・要望を聴く会」報告
7　日本看護学会運営会議報告
8　全国准看護師制度担当役員会議報告
9　平成26年新年の集いの開催について
10　平成25年度第5回理事会議事録

編集後記

あけましておめでとうございます。今年は、午年！どんな年になるかな？

「うま」は、「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んでくる」などのように、縁起のいい動物といわれています。

会員の皆様のご意見・ご要望をいただきながら、興味深い内容にするため積極的に取材に取り組んでいき、“うま”く皆様にお伝えしていきたいと思います！　広報委員一同

2014年1月31日発行
発行／公益社団法人茨城県看護協会　発行人　会長　村田昌子
310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 看護研修センター TEL029(221)6900
ホームページ http://www.ina.or.jp